

江戸東京たてもの園の探索

ここは何のお店でしょう？

- ・「三省堂」って本屋さんじゃなかった？
- ・「筆」「墨」って習字の道具みたい
- ・「算盤」って何だろう？
- ・「文具」って書いてない？



昔はどんな道具を使って
くらしをしていたのかな？

タイトル

テレビ

Before



After



今日、テレビのことを調べて、昔のテレビは、白黒で分厚いけど、今のテレビはカラーで分厚くないということがわかった。

タイトル

『いえ』 Before After

Before



越谷市デジタルアーカイブ収録
越谷市教育委員会 教育総務部 生涯学習課所蔵
『旧見田方遺跡公園・竪穴住居』を一部改変 CC BY
<https://adeac.jp/koshigaya-city-digital-archives/catalog/mp164130-200011>

After



古代の日本には、大きく分けて2つの家の形式があったと言われてい
ます。それは地面を掘り、そこに柱を建てて草などでまわりをおおう、た
て穴式住居と、地面からかなり高いところに床を張る高床式住居です。

道具はどう変わったのかな？



建物はだんだんと傷んでくるので、保存するために定期的な補修が必要です。また、建物を移築する際には、一つ一つ分解して立て直す作業が必要です。移築には多くのお金がかかります。ここに残る建物は、それだけ貴重な歴史がつまった建物だと言えるでしょう。

齋藤さんのお話

建物に再現されている情景は、住んでいた方のお話や文献をもとに作っています。中には場所を変えて営業されている方もいて、時々なつかしくて見に来る方もいらっしゃいます。

生田さんのお話

ここはどここの国でしょう？



天平文化の学習の時にも、大陸から渡ってきた文化の影響を受けていたはず。庶民の暮らしにも浸透するのはいつから？

建物の作り×異文化交流

日本固有の建築文化はどう受け継がれているのかな？

植村商店はクセがすごい...



看板建築と イオニア式の柱

「看板建築」の大きな見所は、大胆な和洋折衷と個性あふれるファサード（建物の正立面）である。村上精華堂もまた、洋風のファサードに、寄棟造り・棧瓦葺きの和風屋根および3階バルコニーの意匠といった組み合わせが和洋折衷の性格を示している。

村上精華堂の外観は、イオニア式の列柱を並べたファサードがきわめて特徴的である。西洋建築の初源であるギリシャ・ローマ建築では「オーダー」と呼ばれる構成原理に基づいて建築物がつけられた。

オーダーの種類は大きく分けて3つの種類（「ドリス式」、「イオニア式」、「コリント式」）があり、イオニア式オーダーは渦巻き型の柱頭が特徴的である。こうしたオーダーは明治期以来、正規の教育を受けた建築家たちがこぞって作品に用いたものであるが、村上精華堂のような看板建築に見られる例は珍しい。柱の間隔や、プロポーション、素材などの点において、本格的な西洋建築の意匠とはかなり差異があるが、そのことがむしろ自由な創造意欲の現れとして、建物にユニークな魅力を与えている。

柱の様式

ドリス式



イオニア式



コリント式



※このほか、ドリス式を簡略化した「トスカナ式」、イオニア式とコリント式を混合させた「コンポジット式」がある。

デジタルアーカイブ × 学校教育

教師の**教材研究**を支援

地域固有の**知的財産**を広く**融通**する

子どもの**探究心**に**火**をつける素材

https://adeac.jp/viewitem/adeac-lab/viewer/etc/sxx-pdf/lg6_izumiotsu02.pdf